

## ■ JFEグループのCSR重要課題 (マテリアリティ)

JFEグループは、5分野・13項目のCSR重要課題を特定しています。

### ● 特定したCSR重要課題

特定したJFEグループのCSR重要課題は、以下の5分野・13項目です。  
 当社グループは、あらゆる事業活動および社会活動において基本となる人権を尊重しながら、公正かつ透明性の高いコーポレートガバナンスを基盤として、これらのCSR重要課題の取り組みを推進していきます。  
 CSR重要課題への取り組みは、「世界最高の技術をもって社会に貢献します。」という企業理念の実践であり、これらを通じてグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現への貢献を目指します。

### 事業活動を通じた「持続可能な開発目標 (SDGs)」への貢献

2015年9月に国連サミットで、持続可能な発展のために世界が共有して取り組む17のゴール「持続可能な開発目標 (SDGs)」が設定されました。グローバル社会の要請に対し、JFEグループは事業活動を通じた貢献を目指します。



企業理念 常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

課題の分野	内容	CSR重要課題	関連性の高いSDGs
事業活動	良質な商品の提供とお客様満足度の向上	商品安定供給 品質確保 研究開発の推進 お客様ニーズへの対応	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 10 人や国の不平等 をなくそう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 17 パートナリ シップで 目標を達成しよう
	地球環境保全	環境配慮商品の開発と提供 地球温暖化防止 大気環境の保全 資源循環の推進	6 安全な水とトイレ を世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを 守ろう
	労働安全衛生の確保	労働災害の防止 社員とその家族の健康確保	3 すべての人に 健康と福祉を 8 働きがいも 経済成長も
	多様な人材の確保と育成	ダイバーシティ&インクルージョン 人材育成制度	4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 10 人や国の不平等 をなくそう
事業活動の基本	コンプライアンスの徹底	企業倫理の徹底と法令遵守	10 人や国の不平等 をなくそう 16 平和と公正を すべての人に

JFEグループの  
持続的な成長と  
企業価値の向上

課題への取り組みが  
目指すもの

持続可能な  
社会の実現に貢献

コーポレートガバナンス (公正性・公平性・透明性を確保)

人権の尊重・人権意識

## ■ JFEプラリソースのCSR重要課題

当社は、JFEグループが特定したCSR重要課題を主軸とし、具体的実行テーマを設定しています。17のSDGs目標と、169の対象とするターゲットを照らし合わせ、対象とするターゲットを定め、取り組みを進めています。

JFEグループ 特定したCSR重要課題		当社の主な具体的実行テーマ	SDGs目標	対象とするターゲット		
事業活動	良質な商品の提供と お客様満足度の向上	商品安定供給	適正なバリューチェーン 小売り店網整備	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任	7.2 再生可能エネルギー割合大幅拡大 7.3 エネルギー効率改善率倍増 9.4 環境配慮技術プロセス導入拡大 11.6 都市部環境影響軽減 12.1 持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立) 実施 12.4 製品ライフサイクルでの環境配慮・健康環境悪影響を最小限 12.5 予防・削減・リサイクル・再利用で廃棄物排出大幅削減 12.6 持続可能性定期報告 13.1 気候変動・自然災害弾力性・適応力強化	
		品質確保	ISO 9001、ISO 18263 に基づく管理体制			
		研究開発の推進	商品開発体制の拡充 研究開発費利益比率2%			
		お客様ニーズへの対応	お客様選択仕様の拡大 エンゲージメント強化	13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップで目標を達成しよう		
	地球環境保全	環境配慮商品の開発と提供	再生プラスチック製品の 開発と商品化	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう	6.4 水資源利用効率改善 7.2 再生可能エネルギー割合大幅拡大 7.3 エネルギー効率改善率倍増 9.4 資源利用効率向上・クリーン技術・環境配慮技術 プロセス導入拡大 12.1 持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立) 実施 14.1 あらゆる海洋汚染防止・減少	
		地球温暖化防止	再生プラスチック製品 適用市場の拡大			
		大気環境の保全	-			
		資源循環の推進	副産物の製品化開発			
	労働安全衛生 の確保	労働災害の防止	設備・作業の安全化への資本投入 (同一テーマの全工場実行) リスク低減ワースト5活動	3 全ての人に健康と福祉を	3.6 交通事故半減 3.a たばこ規制 3.d 健康リスク早期警告・緩和・管理能力強化 8.4 経済成長と環境悪化の分断(資源効率改善)	
		社員とその家族の健康確保	快適職場の形成 家族参加型レクリエーション	8 働きがいも 経済成長も		
	多様な人材の 確保と育成	ダイバーシティ & インクルージョン	外国人の雇用 表示・掲示の多国語化	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう	4.4 男女の区別無く 雇用・ディーセントワーク (働き甲斐・人間らしい仕事) 4.5 ジェンダー格差を無くす 5.1 女性差別撤廃 5.2 女性への暴力排除 5.3 有害慣行撤廃 5.4 無報酬育児・介護・家事認識評価 5.c ジェンダー平等促進 8.2 高レベル経済生産性 8.5 完全かつ生産的雇用・ ディーセントワーク (人間尊厳を保てる生産的な仕事)・ 同一労働同一賃金達成	
		人材育成制度	個人別人材育成シートを用いた 社内外教育計画	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう	10.3 機会均等確保・成果不平等是正	
	事業活動 の基本	コンプライアンスの 徹底	企業倫理の徹底と法令遵守	多岐にわたるテーマの内部監査 事例教育	10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に	10.3 機会均等確保・成果不平等是正 16.5 汚職・贈賄大幅減少 16.10 基本的自由保障

